

第47回 多摩めぐり

2024
9/29(日)

多摩を深める

ユネスコ無形文化遺産シリーズ第二弾「鳳凰の舞」
道行きから奉納まで、新しい仏さま鹿野大仏も



祭礼の道行き①

今回の多摩めぐりは、昨年9月に訪問したユネスコ無形文化遺産登録「鹿島踊り」(奥多摩町)に続いて、もう一つの多摩地域に伝えられるユネスコ無形文化遺産である「鳳凰の舞」を見学します。

「鳳凰の舞」は、日の出町下平井の春日神社秋の祭礼に奉納される勇壮な舞で、金色の鳳凰の冠が燦然ときらめく様子はユネスコの無形文化遺産に相応しい雄渾なものです。

前座として、丸い紅を頬に画いたあどけない少年たちが「奴の舞」を舞います。「エッヘン」で始まる台詞はそれぞれに趣向があり楽しめます。

元来は雨乞いの神事であったのが秋の祭礼に取り込まれたもので、舞の唄や奴の台詞の中に、農民の切実な気持ちがにじみ出ています。

多摩めぐりでは、祭礼の本宮における祭礼関係者による春日神社までの道行きに私たちも同行して、神社における鳳凰の舞のクライマックスまでの一部始終を見学します。

そして、祭礼からいったん離れて、平成30年に建立されたばかりの「鹿野(ろくや)大仏」を拝観します。日の出町の丘陵から人々に温かいまなざしを投げかけて佇むハンサムなお姿は、新しい観光名所として注目を浴びています。

その後、再び街中で、祭礼のもう一つの見ものである各町内の山車による賑やかな競合いを楽しみたいと思います。



神輿宮出し②



鳳凰の舞④



山車の競合い⑤



奴の舞③



鳳凰の冠



祭りの飾り付け



祭礼の幟



鹿野大仏(寶光寺)

○数字は祭りの進行順

◆コース◆

JR 青梅線・福生駅西口 (集合) → <路線バス> → <バス停>三吉野 → 三吉野会館 (祭礼の道行きに同行) → 志茂町山車 → 春日神社 (奴の舞、鳳凰の舞奉納鑑賞) → 鹿野大仏 (昼食) → 寶光寺 → 八幡神社 → 宿通り (中平井) → <バス停>中平井 → <路線バス> → 福生駅西口

【総歩行距離 約4km】

- ・集合日時 2024年9月29日(日) 午前9時30分 雨天中止
- ・集合場所 JR 青梅線 福生駅西口 解散は福生駅・午後3時半頃を見込んでいます。
- ・ガイド 味藤 圭司
- ・費用 参加費1,200円(資料代・傷害保険料等を含む)、別途バス代680円が必要(シルバーバス利用可)
- ・募集人員 30名(先着順)
- ・持ち物 弁当・筆記用具・雨具・飲み物・レジャーシート 他
- ・申込方法 氏名・年齢・住所・電話番号を明記し、Eメールで「多摩めぐりの会」事務局へ
- ・申込と問い合わせ 「多摩めぐりの会」事務局Eメールアドレス⇒ tama.meguri@gmail.com
- ・当日の連絡先 090-7286-2124 (味藤・みとう)

申込締切 9月22日(日)

予告 10月16日(水)に、第45回多摩めぐり「柳瀬川と水再生センター」を予定
(雨天中止となった6月18日の多摩めぐりの振替え開催です)